

12月16日(水曜日)「信仰によって御霊を」

【新改訳 2017】

ガラテヤ 3・1-14

「このことは、アブラハムへの祝福が、キリスト・イエスによって異邦人に及ぶためであり、その結果、私たちが信仰によって約束の御霊を受けるためなのです。」(14節)

「このこと」とは、イエス・キリストが木(十字架)にかけられてのろわれ、それによって律法ののろいから解放されたことです。すなわち、律法を行う者は恵まれ、行わない者はさばかれるというのろいから解放されたことです。

このことは、アブラハムへの祝福、すなわち神を信じて義とされるということが、イエス・キリストを信じるすべての異邦人にも及ぶこととなり、信仰によって、約束の聖霊を受けることになったのです。

主イエスは、先に、求める者に聖霊が与えられると言われ(ルカ 11・13 参照)、ペテロは、悔い改め、イエス・キリストの名によってバプテスマを受ける時、聖霊(の賜物)を受けると言っています(使徒 2・38 参照)。

この大切な霊的真理を、みことばの通りに体験されますように。

～祈り～

主よ。キリスト・イエスを信じる信仰によって、約束の御霊を受け
る特権を与えられたことを感謝します。この恵みを覚え、いよ
いよ御霊の祝福にあずかれますように。

【学びのために】

ここには、信じて救われること(=信仰義認)と聖霊賦与の恵み
の関係を見ることができます。